

第19回よりよい学童保育づくりのための 一日学習会

(「指導員の労働条件改善のための一日学習会」改め)

【テーマ】「格差」の中の子どもと親たち
～ 学童保育と指導員の課題は何かを考える ～

この一日学習会は、指導員の雇用と労働条件も含めた学童保育の条件整備の課題は何かを考え、どうしたら改善を進めていけるかを考える場として開催してきました。

ここ数年、様々な面で「格差」問題が指摘されています。子どもたちの世界においては、10月に発表された文部科学省の「学力テスト」の結果からも、改めて、家庭における経済格差が子どもの学力格差として現れていることが分かります。今回の一日学習会の全体会では、この問題に焦点を当てることにしました。午後からは4つのテーマで分科会を設けました。地域・学童保育から多数ご参加下さい。

当日の日程 (予定)

- 9:30 (受付)
- 10:00 全体会 学習会の趣旨説明
講義「『学力格差』『経済格差』の中の子どもたち」(仮称)
【講師】山本由美さん(浦和大学短期大学部准教授)
- 12:00 (*昼食・移動)
- 13:00 午後は4つのテーマで分科会
「指定管理者制度」に対する運動をどう進めるか～「分離増設は指定で」問題も含めて学童保育をめぐる情勢、制度・施策を学ぶ。自治体への運動をどう進めるかを交流する
またまた県連協作成「モデル就業規則」を討議し、完成させる
「指導員の倫理綱領」づくりを進める パート1
- 16:30 (*分科会毎に閉会)

交通

申し込み用紙

市町村名			所属 学童保育		
学童保育 連絡先	住所 〒() () FAX()				
	氏名	希望分科会		氏名	希望分科会
1			4		
2			5		
3			6		

* 参加費の合計金額()円

日時 2008年1月20日(日) 9:30受付 10:00~16:30

場所 埼玉県県民活動総合センター(地図参照)

参加費 1,500円 *昼食は各自、ご用意下さい。レストランも使えます。

申込み 当日参加も可能ですが、事前申し込みにご協力下さい。郵便振替にて、1月14日までに申し込み下さい。領収書コピーと「申し込み用紙」をFAXにてお送り下さい。また、郵便振替用紙の通信欄に「一日学習会参加申し込み」と明記してください。

埼玉県学童保育連絡協議会・同指導員連絡協議会

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-1005 048-644-1571 FAX048-644-1572

http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/ e-mail: gakudoust@yahoo.co.jp

郵便振替 00160-7-93727 埼玉県学童保育連絡協議会

今回の学習会で学びたいこと

子どもと親たちをめぐる情勢～「学力格差」「学力競争」「経済格差」の中の子どもたち
国連子どもの権利委員会が日本政府に「児童が、高度に競争的な教育制度のストレスにさらされていること及びその結果として余暇、運動、休息の時間が欠如していることにより、発達障害にさらされている」と勧告しました。しかし実態はいっこうに改善されていません。「高度に競争的な教育制度」は、子どもたちを早い時期から「できる子」「できない子」に選別し、子どもたちから仲間とともに学ぶ喜びや学校の楽しさを奪っています。子どもたちのストレスは、いじめ、不登校・学校嫌い、学級崩壊、行動の「荒れ」などという形で表れています。

また今年10月に結果が発表された「全国学力テスト」は、就学援助を受けている子どもの割合が多い学校の方が低い正答率が低いという結果も明らかにし、過程の「経済格差」が「学力格差」となっていることが改めて明らかになりました。

「教育改革」問題などに詳しい教育学者の山本由美さん（浦和短期大学部助教授）を講師に、今日の子どもたち、親たちをめぐる何が起きているのか？私たち大人に求められること 学童保育と指導員の課題は何か？を考えたいと思います。

午後の分科会では、当面している課題として4つのテーマを設けました。

それぞれの設定の理由・背景は以下のようです。

【第1分科会】埼玉県下では指定管理者制度の導入が続いています。全国学童保育連絡協議会の調査によると、本年5月時点で、全国111市町村1,419カ所に指定管理者制度が導入されていますが、そのうち埼玉では14市町（全国比12.6%）166カ所（同11.7%）と際立っています。この間、大規模学童保育を分離増設する際に導入を計画するという例が目立っています。新たな動きのある地域を中心に報告をいただき、考え合いたいと思います。

【第2分科会】学童保育をめぐる情勢は、「放課後子どもプラン」の動き、「厚生労働省ガイドライン」作成と大きく動いています。先ごろ県は「放課後児童クラブと放課後子ども教室は別の事業として充実させていく」との研究報告書を発表しました。情勢を的確につかみ、施策改善・予算増に向けてどのような運動を進めていくかを考えましょう。

【第3分科会】子どもとちゃんと向かい合ってくれる指導員が息長く働いてくれることはすべての親と子どもの願いです。その1つの方策として県連協として指導員の「モデル就業規則」づくりを進めています。9月の合宿研の意見もふまえて第3次案を提示します。

【第4分科会】子どもの命と生活に直接関わる指導員には高い倫理観が求められます。また、「倫理綱領」は、指導員が専門職として認知されていくために必要な要件の1つでもあります。埼玉県内の職能組織である指導員連絡協議会では、この検討を開始します。今回は、その手始めとなります。

今回の学習会の構成と内容

午前中は全体会

趣旨説明 埼玉県学童保育連絡協議会

講義 「『学力格差』『経済格差』の中の子どもたち」（仮称）

【講師】山本由美さん（浦和大学短期大学部准教授）

午後は4分科会

- | |
|---|
| 1. 「指定管理者制度」に対する運動をどう進めるか～「分離増設は指定で」問題も含めて
報告 県連協指定管理者制度チームから～全国研分科会の論議とチームのとりくみ
地域報告（予定）
ふじみ野市 新設予定の学童保育から指定管理者制度を導入？
所沢市 分離増設した学童保育についてし指定管理者制度を導入？ その他
質疑+討論
【助言者】小池菜津夫（NPO法人草加・元気っ子クラブ代表理事） |
| 2 学童保育をめぐる情勢、制度・施策を学ぶ。自治体への運動をどう進めるかを交流する
講義 森川鉄雄（県連協事務局次長）
学童保育をめぐる情勢～放課後子どもプランをめぐる動き、厚労省ガイドライン策定等
学童保育の制度・施策 「埼玉県運営基準」らを改めて学び直し、自治体施策改善に活用する
自治体が施策・予算をつくるしくみ 自治体への運動をどうつくっていくか
質疑+討論 |
| 3. またまた県連協作成「モデル就業規則第3次案」を討議し、完成させる
提案 山本和順（県連協事務局長）
・9月の合宿研究会での意見・要望をふまえて第3次案を提案します。
内容（給与、雇用・労働保険、社会保険、福利厚生など） 財政試算
モデル就業規則の生かし方・使い方
質疑+討議 |
| 4. 「指導員の倫理綱領」づくりを進める パート1
提案 指導員連協研究学習委員会
指導員自身が「倫理」に関する文章を作成すること、持つことの意味
明記する「倫理」に関する内容について
指導員・地域指導員会でどう活用するか？実効性を持たせるか？
質疑+討議
【一緒に考えてくれる方】高橋誠氏（東京都文京区指導員） |